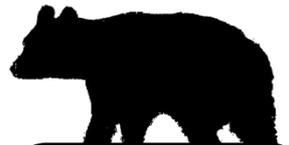


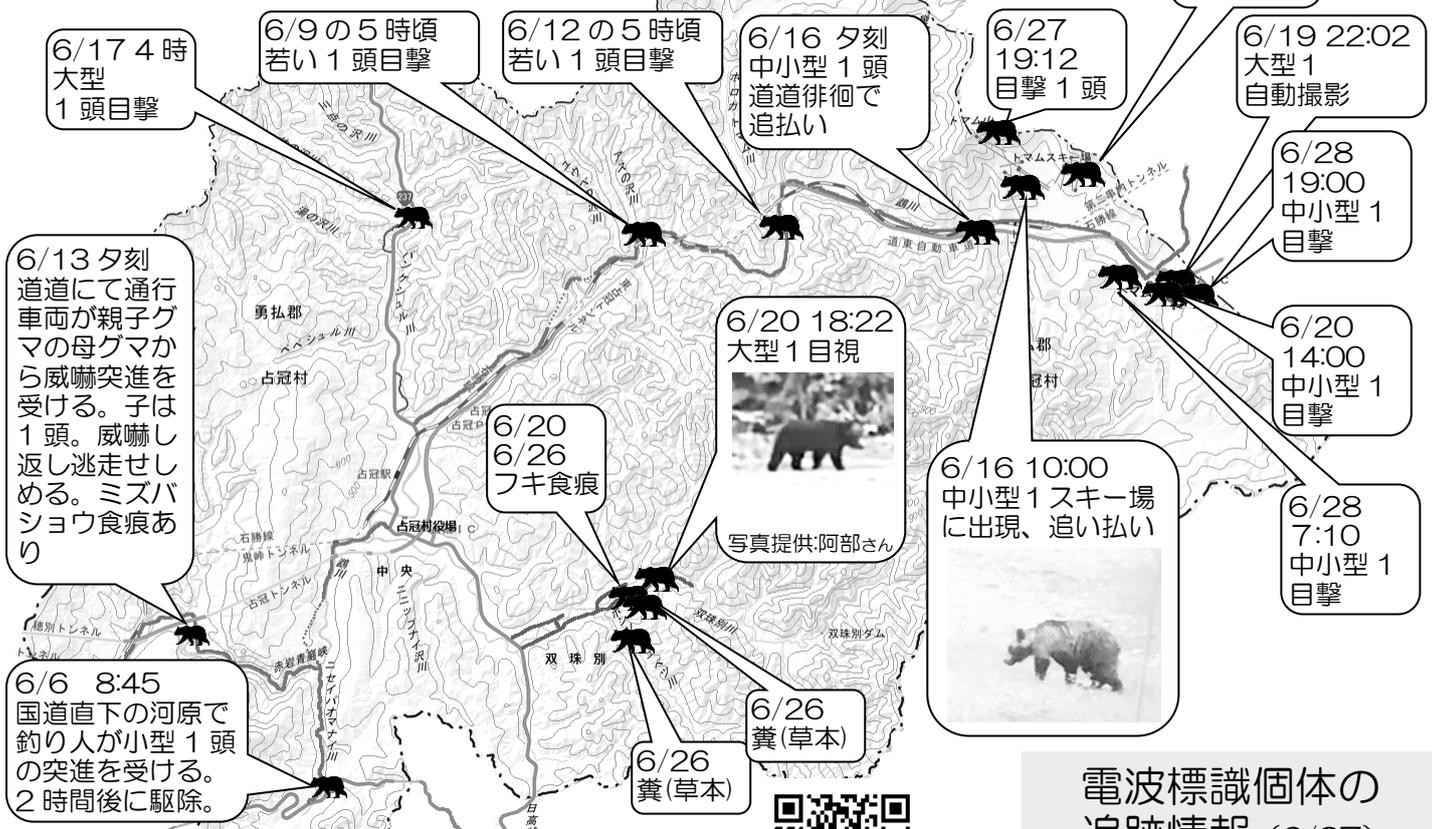
ヒグマについてのお知らせ

令和5年7月 広報おりこみ



注) 情報の有無に係らず、村内は、どこでもヒグマがいる可能性があります。

6月は村内の数カ所で、短期間にヒグマ情報が集中する様子があり、人への警戒心が薄い個体複数の動きによるものと見られています。広報本文でお知らせのとおり、人への攻撃的な接近と、その対応としての駆除もあり、緊張感をもって動静の把握に努めていますところですが、7月は例年、人家近くでの採食行動が盛んになっています。今年は6月下旬から上トマムの八戸沢方面、村道双珠別線の奥で動きが見られており、令和2年あたりと似た展開が予想されているところです。昨年の重点であった上トマム上寮、戸沢線はまだ静かですが、7月の攻防に備え、巡視や草刈りを開始しています。



ヒグマ情報マップは村ホームページにも掲載しています
<http://www.vill.shimukappu.lg.jp/shimukappu/section/nourin/ringyou/nmudtq000002reii.html>



電波標識個体の追跡情報 (6/27)

メス成獣
 6月中も5月と変わらず、中トマム～上トマム～串内方面の山中を巡っていた。人との接触や被害は確認されていないが、リゾートエリアや村道青森団体の農地付近への進入もあり。直近情報は串内。



情報提供：酪農学園大学

- 次のような状況はすぐに対策が必要です。
- ★ 住宅や事業所等、人の生活する場所に現れた。
 - ★ 道路上や道路脇、農地に居座っている。
 - ★ 人に気付いても逃げない。
 - ★ 人に近づく素振りを見せる。あとを付けてきた。
 - ★ 持ち物を奪われた。
 - ★ 農作物や生ゴミなど、人工物を食べている。
 - ★ 人や家畜、ペットが襲われた。
 - ★ ヒグマが車と衝突、けがをして道路周辺にいる。

すぐにお知らせください。
 状況に応じ、注意喚起や立入制限、追払いや捕獲等の対処をします。
占冠村役場 農林課
林業振興室 野生鳥獣担当
☎0167-56-2174
占冠駐在所
☎0167-56-2110

- 次のような状況では、静観できると考えられます。
- 山間部で道路の横断を目撃した。痕跡があった。
 - 山林内でヒグマの痕跡を見た。
 - 山林内でヒグマを目撃した。ヒグマは立ち去った。

役場林業振興室に情報をお寄せください。生息状況の基礎データとして集積し、対策に活かしてまいります。



よろしくお願い致します。占冠村役場 農林課 林業振興室 電話0167-56-2174

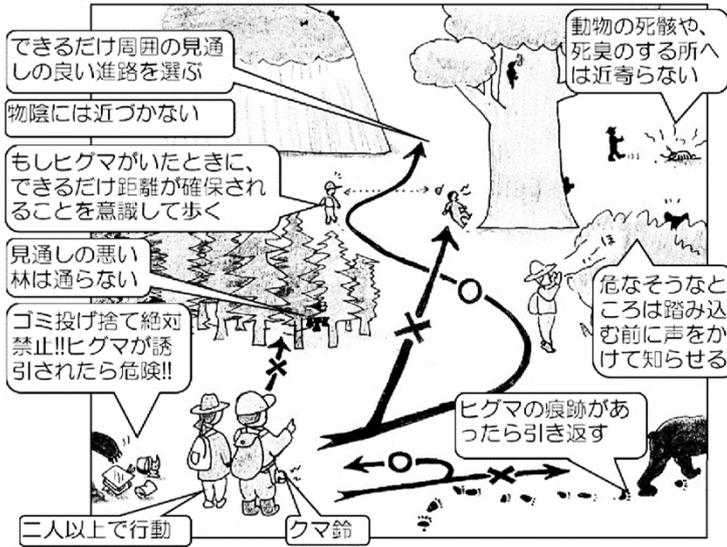


さらに

もういちど たしかめましょう ヒグマ対策

ヒグマからの攻撃を受けないための原則は、まず自身とヒグマとの距離を取ること、そして自身が不利な状況で、場所や物をヒグマと争奪する関係にならないことです。

林業や登山、釣り、山菜採りなどは、できるだけ複数人で行動しましょう。ヒグマが近くにいると想定して見通しのよい進路、クマ鈴の使用、前途への声掛け、食料の管理等を心掛けてください。また自身がヒグマの気配を探り、より早く気付くようにする努力も大切です。



日常生活空間では、ヒグマの隠れ場所や食べ物になる草やぶを取り除き、食品や生ごみはヒグマの手に届かないよう管理しましょう。

Dispose trash properly!

Just on that day!!

Just to that box!!

日頃から、家の周りの草を刈るなど、見通しをよくしておきましょう。

Mow the grass around your house!!

ゴミの管理を適切に!

決められた日に!!

決められた箱へ!!

出歩くときは、草からは距離を取り、見通しを確保しましょう!!

Keep a distance from bushes!!

それでもヒグマと
出会ってしまった
ときは



○ すべきこと	× しないほうがよいこと
<ul style="list-style-type: none"> 立ち止まる 落ち着いて観察 同行者、付近の人と集まる 背を見せずに、歩いて離れる 	<ul style="list-style-type: none"> 大声で悲鳴 物を投げつける 同行者と散り散りになる 背を向けて走って逃げる

6月6日ニニウ名石橋付近の事案詳報



6月6日、ニニウの国道名石橋の下の河原で、単独行動の釣り人が背後からヒグマの異常接近を受ける事案がありました。現場は見通しがよく、釣り人が停止中であったことから、このヒグマが意図的に人に近づいたとみられます。ヒグマは釣竿で叩かれてその場を去り、釣り人に怪我はなかったものの、きわどい状況でした。村の専門員が対応に当たり、発生から2時間後に近くの林内で、体格や毛色が情報と合致するヒグマを発見しました。同じ個体である確証はなく、また異常接近の理由も不明でしたが、大事を取り、その場で捕獲しました。現場周辺では依然、当初個体の生存ほか危険要因が残る可能性ありとして、注意看板を配置し、警戒を続けています。(広報本文より)

急告!!

**上トмам市街地周辺
ヒグマ対策のための
草刈りイベント企画
中**

酪農学園大学とともに、過去の出現情報を基にした草刈りを計画中です。改めてご参加を呼びかけます。支所やミナ・トмамなど通じて告知します。よろしくお願いたします。